

各 位

平成15年4月14日
会社名 株式会社エフピコ
代表者名 代表取締役社長 小松安弘
コード番号 7947 (東証・大証2部)
問合せ先：
経理財務本部長 瀧崎俊男
TEL 084-953-1145

平成15年3月期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

1. 業績予想数値の修正

平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)決算の業績予想について、平成14年11月14日中間決算発表時の予想を下記のとおり修正いたします。

(1) 単体 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A) (平成14年11月14日発表)	114,000	3,300	1,600
今回修正予想(B)	109,800	2,370	1,170
増減(B-A)	4,200	930	430
増減率(%)	3.7%	28.2%	26.9%
前期実績(14年3月期)(C)	107,524	6,061	2,654
今回修正予想と前期実績との比率 (B/C)	102.1%	39.1%	44.1%

(2) 連結 (単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期利益
前回発表予想(A) (平成14年11月14日発表)	119,000	3,600	1,640
今回修正予想(B)	113,200	2,720	1,250
増減(B-A)	5,800	880	390
増減率(%)	4.9%	24.4%	23.8%
前期実績(14年3月期)(C)	110,111	6,317	2,644
今回修正予想と前期実績との比率 (B/C)	102.8%	43.1%	47.3%

修正の理由

昨年来の製品価格の低価格化は、本年に入っても引き続き進行しました。さらに数年来進行してきた原料メーカーの統合の進展で、減産による供給量の調整がある一方で、中国、東南アジアの堅調な需要にも支えられ、原料価格が高止まりした影響もあり、中間決算発表時の予想に比べ、単体では、売上高3.7%、経常利益28.2%、当期利益26.9%、連結では、売上高4.9%、経常利益24.4%、当期利益23.8%下回る見込みです。

この低価格の進行は、予想の範囲を出る部分もあり、原料供給面のタイト感から原料価格の高止まりもしばらく続くと思われる。

今後は、平成15年4月4日に発表しました平均10%の製品値上を、お客様のご理解をいただきながら早期に実現するとともに、市場ニーズに合致した新製品を投入し、浸透速度を一段と速め、在庫回転率を高めてまいります。また継続的に行ってまいりました、お客様と一体となった商品開発、お客様向けの新製品セミナーの集大成として、今回で29回目となるエフピコフェアを4月8日から3日間開催し、前年に比べ30%増のお客様のご来場をいただきました。こうした市場動向を踏まえた「お客様のご要望にお答えできる、商品開発・売り場づくり」の提案を強化し、平成16年3月期では、大幅な増益を目指します。

2. 配当予想の修正

当期の業績は、上記1.のとおり厳しい状況が予想されますので、今期配当は、前期配当では含まれていた特別配当5円を含めず、平成14年11月14日中間決算発表時の予想を下記のとおり修正いたします。

(単位：円)

	中間期	期末		年間
	普通配当	普通配当	特別配当	
前回発表予想	16	16	5	37
今回修正予想	16	16	0	32
前期(平成14年3月期)実績	16	16	5	37

3. 平成16年3月期の通期業績予想については、平成15年5月15日短信での発表を予定しております。

以上